

様式10

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 287 号	氏 名	嶋田 宏
審査委員	主査 武藤 裕則 副査 上月 康則 副査 中野 晋		

学位論文題目

ミャンマーにおける自立的避難を促進するための高潮防災対策に関する研究

審査結果の要旨

ミャンマーの沿岸部はしばしば深刻なサイクロンによる高潮被害を受けている。本論文はミャンマーを対象国として、発展途上国での高潮減災対策を自立的に実施できるようにするための実践的方法について提案したものである。ミャンマーではJICAにより、潮位計測システムと高潮数値解析を用いた自然災害早期警報システム構築プロジェクトが実施されているが、長く複雑に入り組んだデルタ地帯全域でこのシステムで提供する防災情報を有効に活用することは困難となっている。そこで、地域ごとに簡易潮位計を設置し、運輸省気象水門局職員が中心となって自立的に潮位観測と潮位分析ができるよう防災教育と技術移転を実施した。これらの取組が現地技術者の意識改革に有効であることを明らかにした。また、ミャンマーでは河川勾配が極めて緩いため、河口から数百キロメートル上流部でも潮位変動が生じるが、こうした所の潮位は天文潮位に加えて、雨季と乾季の河川流量の違いによる季節変動の影響が大きくなる。そこで、気象庁55年長期再解析データ（JRA-55）による気象データを用いることにより、対象河川での潮位が正確に予測できることを明らかにした。この手法を用いることにより、経常的に潮位観測が行われていない場所でも雨季と乾季の15日間連続観測データを利用することで、入り組んだデルタ地帯での潮位予測が可能となることを提案した。

以上、本研究は、自然現象についての観測技術が発展途上である地域でも自立的に減災対策を推進する手法を提案するものであり、海外との技術協力を進める上でも極めて有益なものであり、本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。